

# 第5回絆づくりこうなん実行委員会 会議要旨

日時：平成23年11月8日（火） 午後1時半～3時半

場所：市民・協働ステーション（情報センター2階）大会議室

- |  |
|--|
| <p><b>議題</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>(1) イベント名について</li><li>(2) 登録団体宛て照会文書（団体PR参加要請）について</li><li>(3) 団体PRについて</li><li>(4) 交流会について</li><li>(5) その他</li></ul> |
|--|

## 1 イベント名について

- ・歴史ブームでもあり、何とかの陣とかがよいのでは。
- ・2回目以降の絆づくりのイベントで、参加者の意思を反映する中で、一つの方向性として、「～の陣」はどうだろうかということで決めるのがよい。参加の“ねた”にもなる。
- ・前回、各委員から提出のあった企画書を重視したい。
- ・「活動発表」、「絆カフェ」とか、説明が要らない、わかりやすいものがよい。
- ・実行委員は、「この指とまれ」の呼びかけで集まった。
- ・2月号の広報案では関係者だけの参加に誤解されてはいけない。タイトルを例えば「この指とまれ絆づくりカフェ」とか、私たちも行っているんだということがわかるものにしないと。
- ・「この指とまれ絆づくりカフェ」が不明瞭であっても、来てみて、こうだったのかという気づきになる。
- ・広報で実行委員会を募集したときは「この指とまれ…」で募集がされた。会議会の名称が変わったことはあまり知られていない。だったら、「この指とまれ」でも。
- ・会議の成功は“食”にあるとも言われている。
- ・お茶のみ感覚で参加してもらいたい。

<p><b>※イベント名称を決定しました。</b></p>
-------------------------------

<p><b>『この指とまれ 絆づくりカフェ』</b></p>
--------------------------------

## 2 登録団体宛て照会文書（団体PR参加要請）について

（事務局から提出のあった案をもとに協議、検討）

- ・絆づくりこうなん実行委員会の下に旧称を入れたらどうか。
- ・旧称は要らない。（複数発言）
- ・「交流会や、団体PRコーナーを設ける計画であります」を「交流会や、一般市民向けへの呼びかけもできる団体PRコーナーを設けます」の趣旨に修正する。
- ・「プレゼン」と聞くと、交流会でのプレゼンと、PRでのプレゼンがあると思われる。分けないと、判りづらい。

- ・パネル、ブースの数を早く確定させなければならない。申込みの締切りを早めに設定する。
- ・参加申込の状況が分からないと、次に進めないなので、締切りは今月末でどうか。
- ・申込みの締切りを11月30日にしましょう。
- ・申込用紙にも、各PRコーナーの注意事項を記載しておく。
- ・申込用紙に、その他のPRの方法の希望欄を設ける。ただし、できるかどうかは実行委員会で検討する。

**※登録団体宛て照会文書を修正の上、決定しました。**

- ・申し込み締切りは、11月30日とする。
- ・説明文に、一般市民にもPRできる旨を入れる。
- ・申込用紙にも、各PRコーナーの注意事項を記載しておく。
- ・PR方法の選択欄に、「その他」を設け、その可否は実行委員会で判断する旨を添える。
- ・登録団体宛て照会文書に、参加者へのメッセージ記入欄を設ける。

### 3 団体PRについて

#### ◆プレゼン

- ・自分が属している団体での例をいうと、やりたいことがあるとパネルだけでは足りないので、プレゼンを加える。PRして協働の相手を探す。自己PRあり、反応もみたい。
- ・一般的にはプレゼンを広い場所でやり、その後、コーディネーター役が、落ち着いた場所での交流会につなげるのも手である。
- ・プレゼンは、その日会場に集まってくれた全ての人向けへのもの。
- ・プレゼンは5分程度。
- ・プレゼンは長くて10分。
- ・プレゼンは5分～10分程度。

#### ◆パネル展示、ブース出展

- ・パネルはB紙大。
- ・パネル、ブースのセッティングを考えると、午前中は準備作業の時間にすべきではないか。
- ・パネルを事前に実行委員会が預かりセッティングするのか。決まった日時に、実行委員の指示により、参加団体側でセッティングしてもらうのか。
- ・パネル展示について、ギャラリーをさらに仕切って活用してはどうか。
- ・パネル展示とブース出展とは違う場所になるのか。
- ・ブース出展は、場所によっては、その壁側も展示などに利用できる。
- ・2階のパソコンや印刷機は移動できないので、パネル展示は当然1階になる。
- ・例えば、大会議室は何かコーナーにしても、その壁は展示に使える。
- ・パネルの形状は、よく喫茶店にあるような、壁に立て掛けるようなものにはできないか。
- ・ボードで作成する必要が生じる。
- ・壁の前に机を置けば、立て掛けることも可能。
- ・ある程度同じ箇所に、同じようなパネルの方が見やすい。

- ・パネルの仕様は、団体の考えや力量によって異なる。いろいろあってもよい。ただ、スペースは制限する。
- ・パネル展示とブース出展ははっきり分けた方がよい。パネル展示は申込みに応じて、展示ボードなどを設けるなどして対応できる。ブースはブースで、机と椅子を用意する。パネル展示とブース出展をドッキングさせようとするのが難しい。
- ・パネル展示、ブース出展、チラシ設置の場所がばらばらなのは珍しい。
- ・登録団体宛ての照会文書に、必ずしも、同じ場所でできない旨を入れたらどうか。
- ・複数（パネル展示、ブース出展、チラシ設置）を希望する団体にとっては、同じ場所を希望してのことだと思う。
- ・ブース出展の場所を検討すべき。ブース出展者のパネルが違う場所にあるのも…。場所がないなら仕方ないが。
- ・両方参加する団体がどれぐらいあるのか分からないが、同じ場所できるようにすべき。ブース机1脚ならB紙2枚は貼れる。そういう団体も参加しやすい環境にすべき。
- ・ブースを出展しようとする団体なら、展示物、配布物、会報などをたくさん持って来る。
- ・ブース出展場所によってはその後ろ側の壁が使えるので、出展者は使いたくなる。断る理由はない。
- ・ブース出展場所を大会議室にすれば、壁も使える。ただし、セロテープ程度しか使えないことを伝えれば、それで参加者側でそれなりに準備されると思う。
- ・ブース出展について、最初から団体数を決めて募集するやり方もある。登録団体向けの照会には出展数を制限せず、1月号広報には何ブースと決めて募集するのか。
- ・パネル展示とブース出展の両方を希望する団体もあると思う。場所を一緒にする配慮は必要。
- ・パネル展示とブース出展を必ず一緒にできると思われても困るが、セッティングの際に工夫する。
- ・午前中1時間（9時から10時）のセッティング時間でそこまで可能だろうか。
- ・午前中のスタートは難しいのでは。準備時間ではないか。
- ・午前10時から午後3時までにしないと、人が来ない。
- ・パネル展示、ブース出展の準備はそんなに時間は要らない。1時間もあれば可能。
- ・パネル展示、ブース出展のセッティングは、原則当日9時から。当日セッティングが難しい団体は、前日となるが、その件は事前説明会で説明する。
- ・実行委員会は前日から可能な限り準備する。
- ・当日の準備作業が同じ時間に集中すると、持込の自動車の駐車場の問題もある。
- ・広報で募集する団体のスペースをあけておく。
- ・申込みの段階で、何と何に参加するかはわかる。
- ・ブースの椅子は1席でよい。
- ・ブースの椅子は2、3席でよい。
- ・ブースの椅子は2席にしましょう。ブースの椅子は予備も考えておく。
- ・机、椅子など不足する場合は、市役所から臨時で移動させる。
- ・あまり作業が大変にならないようにしたい。
- ・団体名を上貼しておけば、それを見てセッティングができる。

### ◆事前説明会

- ・団体PR参加者へのちょっとした交流もほしい。別の日にできれば理想だが。
- ・参加団体がはっきりしたら、展示場所、出展場所を知らせる必要がある。
- ・事前の説明会を開催する。集まって情報交換もしたい。調整もしやすい。いろんなところに出ている団体からは知恵を授かることもある。
- ・1月号でさらに参加団体を募集するので、それが決まってから。
- ・事前説明会が参加の条件ではない。
- ・事前説明会では設置場所のレイアウト図を渡す。
- ・予備日も設けた方がよい。いきなり言われても困るだろう。
- ・実行委員会で当番（担当）を決めるなどの対応が可能なら複数日の開催も可能では。
- ・事前説明会の欠席者には、レイアウト図などの資料を事前に送付する、

### ◆その他

- ・2階に上がってきたら、ぱっと何をやっているのかが判るのがよい。
- ・登録団体が他の団体と協働したいというニーズ等はあるのか。
- ・把握していない。地域協働課では、団体間の協働を促すための補助制度も設けており、過去採択された事業実施団体に、事例報告として、協働してよかった点などを報告してもらってもよいと思う。
- ・まちづくり補助制度は、普段から関係のある人、団体で行われているのが実情。あらためて協働相手を探してまでは少ないと思う。また、そういうことも慣れていない。協働するといふことがあるとは思っていても、はっきりとしたニーズにはなっていないのでは。
- ・前日は大会議室が使えないが、他の場所の準備できる。ギャラリーは前週の火曜日から使用できる。

### ※団体PRの概要について決定しました。

- ・参加団体による、パネル、ブースのセッティング時間は、当日午前9時～午前10時。  
（前日は、大会議室と相談コーナー以外は使用可能。）
- ・平成24年1月中に、事前説明会を開催する。  
（欠席者には、レイアウト図などを送付する。）
- ・プレゼンは概ね5分から10分
- ・パネル展示は、B紙大（模造紙790mm×1,090mm）以内、1枚まで
- ・ブース出展は、机1脚、椅子2席
- ・パネル展示とブース出展など複数で参加の場合は、その場所について配慮する。

（決まった内容を登録団体宛て照会文書に反映させます。）

## 3 交流会について

### ◆「市民へのPR」

（交流会の中での団体PRについて、統一様式の「市民へのPR」が委員より提案される。）

- ・参加団体から提出してもらった「市民へのPR」を製本して来場者に配布するのか。
- ・「NPO・ボランティアガイド」は一般市民は知らない。130団体についても。
- ・そのままではなく、縮小して、まとめて印刷したらどうか。
- ・どのタイミングで団体に提出を求めるのか。
- ・11月末に団体PR参加を締め切るので、その団体に12月末までに提出してもらおう。
- ・「NPO・ボランティアガイド」を印刷し、当日配布も対応可能。(事務局)
- ・登録団体でない団体が広報を見て参加される場合は、シートが必要。
- ・シートがあれば交流のとき、話しやすい。

#### ◆会場レイアウト

- ・小会議室は閉鎖的なつくりなので、実行委員会で昼食などにつかったらどうか。カフェはオープンな中会議室ではどうか。
- ・プレゼンは2階フリースペースが適当ではないか。
- ・交流コーナーと、個々に話し合う場を設けたい。

#### ◆カフェ

- ・100円カフェにしたらどうか。
- ・情報センターでは営利を得るようなことはできない。
- ・市で歳入する予定はしていないが、実行委員会で歳入するなら、会計担当やしっかりした経理が必要。
- ・お菓子などの持ち込みなどは、管理をしっかりとしなければならない。
- ・手間隙かけないなら、カン、ペットボトル。
- ・カン、ペットボトルの場合、そのまま持ち帰りもありうる。そうなったら残念だ。
- ・お茶やコーヒーを出せるように考えましょう。

#### ◆進行

- ・プレゼンと交流会を並行させるのはどうか。ゆっくり話している隣で、拡声器を通した大きな声が聞こえてくるのもどうかと思う。
- ・開会時と閉会時に集まって、全体会を行う場合と、時間になったらなんとなく始まって、なんとなく片付け始める場合がある。
- ・最初と終わりの場はほしい。
- ・最後に来場者、団体PR参加者からの感想をもらう場もほしい。
- ・最初は、2階フリースペースに集まって、その後各コーナーに分かれては。
- ・交流コーナーでは進行役が必要ではないか。

#### ※来場者への配布資料について決定しました。

- ・「NPO・ボランティアガイド」を配布する。
- ・登録団体以外が団体PRに参加する場合は、統一シートを配布する。  
(1月開催の事前説明会で、統一シートを渡し、提出を求める。)

## 4 その他

### (1) 登録団体からのメッセージ

- ・団体PRに参加しない団体からもメッセージをもらったかどうか。
- ・団体PR申込用紙に記入欄を設けたらどうか。
- ・当日、ボードに張り出す。
- ・読まない。
- ・例えば、絆づくりのアイデアを記入してもらい、それを当日の交流会の材料にしては。
- ・企画に対するメッセージか。
- ・相手に考えさせるようなものは、返って申込自体に影響する。

- ※・登録団体宛て照会文書に、「参加者へのメッセージ」記入欄を設ける。
- ・寄せられたメッセージは当日、会場内で掲示する。

### (2) 次回実行委員会

- ・日 時 12月6日(火) 午後1時30分
- ・場 所 市民・協働ステーション フリースペース(地域情報センター2階)